

令和6年第2回定例会12月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。本会議は午前10時から開会します。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

12月4日(水)

- | | | | | | |
|-----|----|-----|----|-------------|----------|
| (1) | 飯田 | 伸子 | 議員 | (公明党) | ……………P2 |
| (2) | 山中 | 裕司 | 〃 | (市民の会) | ……………P4 |
| (3) | 竹内 | きよ子 | 〃 | (明石かがやきネット) | ……………P5 |
| (4) | 正木 | 克幸 | 〃 | (明石維新の会) | ……………P7 |
| (5) | 石井 | 宏法 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P8 |
| (6) | 河村 | 和歌子 | 〃 | (公明党) | ……………P9 |
| (7) | 中川 | 夏望 | 〃 | (市民の会) | ……………P10 |

12月5日(木)

- | | | | | | |
|------|----|-----|----|-------------|----------|
| (8) | 林 | 丸美 | 議員 | (明石かがやきネット) | ……………P13 |
| (9) | 中村 | 茂雄 | 〃 | (明石維新の会) | ……………P14 |
| (10) | 灰野 | 修平 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P15 |
| (11) | 国出 | 拓志 | 〃 | (公明党) | ……………P16 |
| (12) | 黒田 | 智子 | 〃 | (市民の会) | ……………P17 |
| (13) | 出雲 | 有希子 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P18 |
| (14) | 尾倉 | あき子 | 〃 | (公明党) | ……………P19 |

12月6日(金)

- | | | | | | |
|------|-----|----|----|-----------|----------|
| (15) | 山下 | 祥 | 議員 | (市民の会) | ……………P20 |
| (16) | 井藤 | 圭順 | 〃 | (自由民主党明石) | ……………P22 |
| (17) | 金尾 | 良信 | 〃 | (市民の会) | ……………P23 |
| (18) | 辻本 | 達也 | 〃 | (日本共産党) | ……………P24 |
| (19) | 中西 | 礼皇 | 〃 | (対話の会あかし) | ……………P26 |
| (20) | 家根谷 | 敦子 | 〃 | (スマイル会) | ……………P27 |

※ 順位については予定です。

令和6年第2回定例会12月議会発言通告一覧表

| 発言順位 | 1 | 議員名 | 飯田 伸子(公明党) |
|------|---|-----|------------|
| 発言事項 | <p>1 生理休暇を取得しやすい環境整備への取組について</p> <p>(1) 本市職員の生理休暇取得の現状について (要旨) 生理休暇は労働基準法に定められているが、まだまだ理解が進まず取得率が低い。本市職員の生理休暇取得の現状を問う。</p> <p>(2) 生理に対する社会や職場の理解を深め、生理休暇を取得しやすい環境整備への取組について (要旨) 生理の症状がつかなくても休暇を申請しない主な理由として、男性上司に言いにくい、利用者が少ないので申請しにくい等がアンケート結果に表れている。国はシンポジウムの開催や情報発信等、生理休暇取得への環境整備を進めている。本市も市内企業や市民を対象に、生理に対する理解を深め、生理休暇を取得しやすい環境整備に取り組まないか。</p> <p>(3) 教育現場における生理が理由の欠席に対する配慮について (要旨) 生理の症状がつかなくても生理では休めないと思ったり、成績や内申点に影響が出ることを心配したりして我慢する生徒が多いとの調査結果が報告された。これを受け、学校にも生理休暇の導入を求める声が上がっている。令和5年6月には文部科学省が生理による欠席が理由で高校入試が不利にならないよう配慮を求める通知を発出した。本市の対応を問う。</p> <p>(4) 教育現場での生理教育への取組について (要旨) 生理に関する悩みや苦痛に年齢は関係ない。生理に対する社会の理解を深めるためには、教育現場における早期の取組が必要と考えるが、市の取組を問う。</p> | | |
| | <p>2 誰もが気軽に楽しめるサイクリングロードへの利用環境の整備について</p> <p>(1) 本市のサイクリングロードの魅力に対する認識について (要旨) 播磨サイクリングロードのうち、本市の海岸線を走る区間は眺望に恵まれており、歴史的スポットも点在している。本市のサイクリングロードの魅力に対する認識を問う。</p> <p>(2) 誰もが気軽にサイクリングを楽しむよう利用環境の整備をしないか。 (要旨) シェアサイクルポートの設置やコースの路面表示等、利用者が年齢や体力などの個人差に応じて気軽にサイクリングを楽しむよう利用環境を整えないか。市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 1 | 議員名 | 飯田伸子(公明党) |
|------|---|-----|-----------|
| 発言事項 | <p>(3) 隣接する観光スポットへの案内掲示や自転車版道の駅の設置等で観光資源としてのポテンシャルを引き出さないか。 (要旨) コースの東側には大蔵海岸や旧波門崎燈籠堂などの観光スポットが、西側には砂浜が広がり遊歩道やベンチなどが整備された二見の毘沙門浜がある。これらを案内する掲示をしたり、自転車版道の駅を設置したりすることで観光資源としてのポテンシャルを引き出さないか。</p> <p>(4) 市民や観光客にサイクリングロードを積極的に広報しないか。 (要旨) 海岸線を走り明石が誇れる景観を有するサイクリングロードであるが、実際に訪れたことがある市民は意外と少ない。市民に広く親しまれ、観光客にも楽しんでもらえるサイクリングロードになるよう、魅力を積極的に広報しないか。</p> | | |
| | <p>3 明石市立市民会館における障害者や高齢者等要配慮者の避難経路確保について</p> <p>(1) 災害発生時における要配慮者の避難経路の現状について (要旨) 障害者の方より、市民会館のバリアフリー化が進んでおらず災害発生時の避難に対し強い不安を感じているとの声がある。障害者や高齢者等要配慮者への対応の現状を問う。</p> <p>(2) 災害発生時の要配慮者の避難経路確保に対する今後の取組について (要旨) 災害発生時に要配慮者が迅速かつ安全に避難するには、設備面、人員面の両方の対策が必要である。誰もが安心して市民会館を利用できるための今後の取組を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 2 | 議員名 | 山中 裕司(市民の会) |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 都市で気軽に楽しめるアーバンスポーツの可能性と推進について</p> <p>(1) スケートボードパークの環境整備に向けた社会実験について (要旨) 東京2020オリンピックやパリオリンピックの効果でスケートボードを始める子供が増加している。子供の遊びではなく、先の人生を見据えた教育の一環として真剣に取り組んでいる親御さんも多いが、誰でも気軽に練習できる場所が少ない。スケートボードの環境整備に取り組むためには騒音の問題など課題も多いため、周りに与える影響などを含めた社会実験を行ってはどうか。市の見解を問う。</p> <p>(2) アーバンスポーツツーリズム振興による地域の活性化について (要旨) アーバンスポーツの競技者・愛好家は少数ではあるが、優れた施設における体験に積極的である。また、競技レベルの高いアーバンスポーツイベントの観戦ニーズも高く、体験と組み合わせることでツーリズムにつながる可能性を有している。アーバンスポーツの施設整備を行い、地域の活性化、魅力あるまちづくりを推進することが重要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 持続可能な地域のボランティア活動について</p> <p>(1) あかし市民活動応援助成金事業の対象外経費の内容について (要旨) 公益性のある市民活動を実施する団体が、自立・継続的に活動していけるように助成金が交付されている。申請内容の中には、海岸清掃や夏のイベントなど野外活動も多いが、食糧費は助成対象外経費であるため、飲料を購入するのも実費になってしまう。熱中症対策の観点から、夏季期間中だけでもソフトドリンクや塩分チャージタブレットなどが購入できるよう助成対象外経費を緩和する必要があると考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(2) 行政とボランティアの在り方について (要旨) 平成に入り、市民のボランティア意識は急速に高まっていたが、近年、若者の参加が少なくボランティアの高齢化が各地で問題とされており、年々減少している。市とボランティアとの間で認識の差が大きくなっており、市は無償の労働力という観点から脱却しなければ、地域のボランティアはさらに減少する可能性が高い。交通費の支給や有償ボランティアの仕組みづくりが重要だと考えるが、市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 3 | 議員名 | 竹内 きよ子 (明石かがやきネット) |
|------|--|-----|--------------------|
| 発言事項 | 1 大久保駅周辺市有地利活用の進捗状況について | | |
| | <p>(1) 大久保市民センター、中部地区保健福祉センター用地について (要旨) 老朽化している大久保市民センターと令和7年度に貸付契約が終了する中部地区保健福祉センター用地について、今後どのような形で活用していくのか。市の見解を問う。</p> <p>(2) J T跡地公共公益施設用地について (要旨) J T跡地の活用としては、大久保南校区まちづくり協議会地域開発委員会での議論やWebアンケートも参考に、防災施設も含めた体育館併用のアリーナ複合施設の建設が大久保駅の利便性も考えて最適だと考えるが、市の見解を問う。</p> | | |
| 発言事項 | 2 本市の小・中学校の抱える課題とその対応について | | |
| | <p>(1) 市内小・中学校屋内運動場の空調整備について (要旨) 今年度と同様の猛暑が来年度以降も予想される中、水分補給しても熱中症の危険があるグラウンドでの活動が限界であるという声も聞いており、安心・安全に教育活動に取り組めることが大切だと考える。屋内運動場の空調設備の設置に関して先行導入事例を参考に行っていくと発表されているが、どのように進めていくのか。市の見解を問う。</p> | | |
| | <p>(2) 小学校給食費の公会計化について (要旨) 令和元年7月に文部科学省から学校給食費徴収・管理に関するガイドラインが示され、公会計化への移行を促進することとされている。中学校が令和2年度から無償化となって徴収事務の負担がない中、小学校は給食費無償化が難しい現状に鑑み、給食費の公会計化に踏み込むべきであると考え、市の見解を問う。</p> | | |
| | <p>(3) 大久保地区中学校の過大規模校の対策について (要旨) 生徒数が増加し続けている中、教室整備の問題や適正なクラス数を維持するための対策が必要と考え、市の見解を問う。</p> <p>(4) 部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行について (要旨) 運営団体の体制整備、条件整備、人材派遣、専門性のある指導者確保などを進めるとともに、モデル校についても、剣道だけではなく他種目も追加実施していくべきと考え、市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 3 | 議員名 | 竹内 きよ子 (明石かがやきネット) |
|------|--|-----|--------------------|
| 発言事項 | 3 明石養護学校の課題について | | |
| | (1) 養護教諭の複数配置維持と看護師の増員について (要旨) 通学用車両導入に伴い児童生徒が増加していく中、看護師の増員・確保が必要であると考えます。また、子供たちの大切な命を預かる職員であり、看護師を確保するための給与改善等や、子供たちが安全にプールの授業を屋内で行うに当たり、移動の際も看護師の増員が必要であると考えますが、市の見解を問う。 | | |
| 発言事項 | 4 明石市内の観光スポットへのモニュメント設置について | | |
| | (1) 明石市内の観光スポットへのモニュメント設置について (要旨) 本市にはいくつかの観光(撮影)スポットがあり、市民が集まる場所になっている。しかし、明石かがやきネットの会派広報紙でアンケートを行ったところ、回答者の75.9%が明石にはパブリックアートがないと答えている。令和7年の神戸マラソンコース延伸に合わせて、明石海峡大橋をバックに写真が撮れるスポットを整備して明石を広くPRしてはどうかと考えるが、市の見解を問う。 | | |

| 発言順位 | 4 | 議員名 | 正木 克幸 (明石維新の会) |
|------|---|-----|----------------|
| 発言事項 | <p>1 明石市のさらなる産業振興政策について</p> <p>(1) これまでの産業振興政策及び今後の産業振興政策について (要旨) 本年度より始まった明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助金や、国・県の補助金について、市内事業者が情報収集できるように本市としてどのように支援するのか。</p> <p>(2) 市内事業従事者の確保支援について (要旨) 産業振興の大きな要素でもある後継者問題や従業員確保に対する今後の支援について、市の見解を問う。</p> <p>2 DX化の推進による市民サービス向上について</p> <p>(1) これまでのDX化の経緯や今後の取組について (要旨) 事務作業の効率化、歳出削減効果に伴う高齢者や障害者給付事業などの市民サービスの向上について、市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 5 | 議員名 | 石井 宏法 (自由民主党明石) |
|---|---|-----|-----------------|
| 発言事項 | 1 明石市の財政見通しについて | | |
| | (1) 明石市の財政見通しについて (要旨) 市役所新庁舎の入札が不落に終わり、今回の本会議では約31億円の増額補正予算が上程されている。また、今後、建設が予定されている他の公共施設についても予算の増額が予想されるが、これに伴う本市の今後の財政見通しについて、見解を問う。 | | |
| | 2 観光地域づくり法人 (DMO) について | | |
| | (1) 観光地域づくり法人 (DMO) について (要旨) 今後、本市が観光を活性化させるためにDMOを創設するべきと考えるが、本市の見解を問う。 | | |
| 3 豊かな海づくりについて | | | |
| (1) 豊かな海づくり再生事業について (要旨) 今年度、海の貧栄養化の解決策として、漁業者と連携し、プランクトンの餌となる窒素やリンを増やすための施肥投入及びそのモニタリングが実施されている。漁業者からの期待が大きい本事業を拡大するべきと考えるが、本市の見解を問う。 | | | |
| 4 体育館の空調整備について | | | |
| (1) 小学校体育館の空調整備について (要旨) 中学校及び明石商業高等学校体育館への空調整備について補正予算が上程されているが、今後、小学校体育館への空調整備についてはどのように考えているのか、本市の見解を問う。 | | | |

| 発言順位 | 6 | 議員名 | 河村 和歌子（公明党） |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 プレコンセプションケア（若い男女を対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組）の推進について</p> <p>(1) 近隣市のプレコンセプションケアの取組に対する本市の見解について (要旨) 若い男女を取り巻く環境が大きく変化している中で、将来の妊娠につながる健康管理に関する情報提供を推進するプレコンセプションケアの取組が必要である。県下各市、近隣市でも取組を進めていると聞いている。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 本市のプレコンセプションケアの取組について (要旨) こどもを核としたまちづくりを推進する本市において、次代を担う子どもや若い男女が、早いうちから性に関する正しい知識や自分自身の心と体の健康について知ることが重要である。本市においては、プレコンセプションケアの取組が進んでいないように感じるが、本市の今後の取組を問う。</p> <p>(3) 本市の学校教育におけるプレコンセプションケアについて (要旨) 学校で行われている保健（健康）教育にプラスして、プレコンセプションケアの理念を踏まえた学校教育が重要である。教育現場におけるプレコンセプションケアの取組状況と、今後の取組についてを問う。</p> <p>(4) 本市の健康増進計画であるあかし健康プラン21について (要旨) プレコンセプションケアが必要な時期は、小学校高学年から40歳半ばまでと言われている。本市の健康増進計画であるあかし健康プラン21にプレコンセプションケアの項目を位置づけるべきと考えるが、本市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 7 | 議員名 | 中川 夏望(市民の会) |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 市民が安心して利用できる公共施設の在り方について</p> <p>(1) 「公共施設配置適正化計画」の更新について (要旨) 現在、「財政及び公共施設のあり方に関する検討会」が設置され、財政白書について検討を重ねている。令和7年度にはメンバーを同じくし、「公共施設配置適正化計画」の更新についての検討会が開始される。検討会はどのように進めていくのか。また、委員以外の市民の声をどのように取り入れていくのか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 「明石市立学校施設長寿命化計画」の更新について (要旨) 令和7年度に「明石市立学校施設長寿命化計画」の更新が予定されている。当該計画は「公共施設配置適正化計画」の個別計画ではあるが、教育施設は全体の縮減に伴い削減の検討対象となるものではなく、「公共施設配置適正化計画」の結論に関わらず、その修繕や改築は優先されるべきである。 新耐震基準は震度6強～7クラスの地震でも倒壊しないことが目標とされる。市内の小中学校等は全校倒壊しない状況であるか。また、現行の計画内の5年間の整備計画に記載されているトイレ改修やエレベーター設置はどのくらい進んでいて、未着手の学校はいつまでに整備されるのか。本市の見解を問う。</p> <p>(3) 学校施設のプールについての個別計画を策定しないか。 (要旨) 学校施設のプールは「明石市立学校施設長寿命化計画」の対象となっていない。プールの老朽化が進む学校も少なくなく、全校がプールの民間委託ができる状況でもないと聞いている。民間委託する学校や複数校でプールを共有する学校などを広い視野で検討し、その全体像を市民に共有するために、市内学校施設のプールについての個別計画を策定してはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>2 こどもや保育士が守られる保育環境の整備に向けて</p> <p>(1) 市への相談を保育環境の改善につなげないか。 (要旨) 現在、本市では保育あんしんダイヤルを設置し、保護者や保育士の相談を受けている。保育施設に対する相談は、相談者の承諾を得た場合のみ市から施設へ指導している。相談の内容を施設に伝えるため、相談者が特定をおそれた場合、その相談は施設に伝えられることなく、改善に至っていない。現在の運用には限界があるのではないか。相談者保護を前提とした上で、現行の方法以外で相談を改善につなげる方法を検討しないか。本市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 7 | 議員名 | 中川夏望(市民の会) |
|------|--|-----|------------|
| 発言事項 | <p>(2) 保育施設で不適切事案があった場合、市民に公開しないか。 (要旨) 現在、保育施設において虐待など不適切な事案があった場合の相談制度は、法律等での明確な規定はなく、障害者や高齢者の施設と比較し、制度上の仕組みは限定的である。 市民としては、瑣末なことでも公表されることで安心感が増し、逆にマスコミやSNS等から知ることになれば、市や保育施設への信頼感は損なわれるのではないか。今後、保育施設で不適切事案があった場合、瑣末な事案でも公表してほしいと考える。不適切事案に対する本市の見解を問う。</p> <p>(3) 保育施設に対する指導監査結果を公開しないか。 (要旨) 前年度に指導監査で文書指摘されて、保育施設が改善したと報告している事項について、市民から相談を受けることがある。施設ごとの指導監査結果は公開されておらず、仮に改善していなくても市民は知ることがないため、このような事案が発生するのではないか。 施設ごとの監査結果は公開されていないが、社会福祉法人自体の監査結果は福祉・保健・医療の総合情報サイト「ワムネット」で公開されている。保育施設の指導監査結果も公開しないか。本市の見解を問う。</p> <p>(4) 指導監査で文書指摘され、施設から改善報告を受けた事項の確認及び改善されていない場合の対応について (要旨) 指導監査で文書指摘された場合、施設は改善報告を提出しなければならない。しかし、その後、改善されているかどうかの確認は実施されていない。指導監査結果を安心して預けられる保育環境づくりにつなげる必要があると考える。そこで、翌年度に改善されているのかを確認し、改善されておらず、指導しても改善しなかった場合、市としてどのような対応をするのか。本市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 7 | 議員名 | 中川夏望(市民の会) |
|------|--|-----|------------|
| 発言事項 | <p>3 子育て支援のさらなる発展のために</p> <p>(1) 5歳児の健康や発達を守る取組をさらに発展させないか。 (要旨) こども家庭庁は5歳児健診の実施率を令和10年度に100%とすることを目指し、来年度から補助額を引き上げることを発表した。現在、本市では、5歳児の保護者に発達相談の間診票を送付し、相談を希望する場合は市へ連絡するよう促す取組を行っている。保護者が心配している場合だけでなく、保護者が認識していないケースの気づきを促す必要があるのではないか。 現在の取組の成果や課題を受け、5歳児健診の実施を含め、5歳児の健康や発達を守る取組をさらに発展させてはどうか。本市の見解を問う。</p> <p>(2) 金ヶ崎公園の使用禁止遊具の今後について (要旨) 現在、金ヶ崎公園には使用禁止のまま1年以上置かれている遊具がある。この状態で放置することはかえって危険であり、早急に対応すべきではないか。仮に撤去する場合でも、自然豊かな金ヶ崎公園の良さを生かしたこどもの遊びの場は維持してほしいと考える。今後、金ヶ崎公園の遊具をどうするのか。また、こどもの遊びの場をどうするのか。その方向性について、本市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 8 | 議員名 | 林 丸 美 (明石かがやきネット) |
|------|---|-----|-------------------|
| 発言事項 | <p>1 災害時における自助・共助への市民の関心を高める取組について</p> <p>(1) 現状の市民に対する自助・共助の周知について (要旨) 本市では、防災訓練や市民講座を通じて防災についての啓発活動を行っているが、地域間での取組状況や市民の関心に差があると感じている。さらに、阪神・淡路大震災から来年で30年となり、当時を知らない若い世代の市民も増えている。今年は能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあり、今こそ市民の防災意識を高める絶好の機会と考える。これまでの災害でも、例外なく災害発生直後は公の支援を頼れないことから、市民の自助・共助への意識づけが必要と考えるが、本市の取組と成果について、見解を問う。</p> <p>(2) 防災をきっかけに地域の共助を強化する方策について (要旨) 災害時の共助は、日頃のご近所付き合いや地域の間関係が基盤となるが、近年、地域活動への関心が低下していることが課題となっている。市として、防災を切り口にした共助の促進や、地域活動への関心を高めるための具体的な取組について、どのように考え、実施されているのかを問う。</p> <p>(3) 今後の課題と展望について (要旨) 今後、市民の防災意識をさらに高め、地域間の取組の格差を縮めるための新たな施策や展望について、見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 9 | 議員名 | 中村 茂雄 (明石維新の会) |
|------|--|-----|----------------|
| 発言事項 | <p>1 運動部活動の地域移行について</p> <p>(1) 運営体制の進捗状況について (要旨) 次年度より剣道以外の別競技に広げるための運営団体はどこまで調整できていますか。地域移行の目的を常に確認しながら、スピード感を持って進めることが必要であると考えますが、本市の現状について見解を問います。</p> <p>(2) 指導者確保の現状とこれからについて (要旨) どの関係部署・関係団体と協力し、休日部活動の指導者確保を進めているのか。本市の現状について見解を問います。</p> <p>2 これからのこどもの居場所づくりについて</p> <p>(1) 居場所運営における課題について (要旨) 来年1月の西部地域の新たな居場所開設に向けて、あかしフリースペース・トロッコの運営方式も参考になると思われませんが、開設してからの3年間で、居場所で過ごす子どもたちはどのように変わりましたか。また、運営方法で改善が必要だった内容についてはどのように改善されたのか、本市の見解を問います。</p> <p>(2) 西部地域の新たな居場所における運営方針について (要旨) 西部地域に開設される新たな居場所については、さらに前向きな将来像を持てるよう、目的に合わせた専門的な学習支援や様々な生活体験ができるような場を提供することも、子どもたちにとって自己肯定感を高める取組の一つとして必要と考えますが、本市の見解を問います。</p> <p>(3) こどもの未来に向けた新しい居場所づくりについて (要旨) 新たな居場所においては、あかしフリースペース・トロッコの運営方針は残しつつ、個別のニーズに対応したきめ細やかな支援の提供が必要と考えます。現在の居場所では実施していない新たな活動を展開し、専門的な学習支援や様々な生活体験ができ、自ら選べる「行きたい」「居たい」「やってみたい」がある場所として開設し、子どもたちの自己肯定感を育みながら、こどもの未来へつなぐことのできる居場所の提供でなければならないと思いますが、本市の見解を問います。</p> | | |

| 発言順位 | 10 | 議員名 | 灰野修平（自由民主党明石） |
|------|---|-----|---------------|
| 発言事項 | <p>1 本市の地域経済活性化や地域産業の強化について</p> <p>(1) ビジネスサポートセンターの設置について (要旨) 本市の地域経済活性化や地域産業の強化にはビジネスサポートセンターの設置が重要と考えるが、市の認識を問う。</p> <p>(2) 本市の経済産業団体との連携について (要旨) 明石商工会議所や明石市産業振興財団等、地域の経済産業団体との連携が重要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>2 本市の持続可能な医療費制度について</p> <p>(1) こども医療費助成事業について (要旨) 本市のこども医療費助成額は年々増加しているが、持続可能なものなのか、市の認識を問う。</p> <p>3 大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取組について</p> <p>(1) 全体構想について (要旨) 現時点での全体構想について、市の考えを問う。</p> <p>(2) 大久保市民センター敷地及び大久保駅東公園南側土地（中部地区保健福祉センター用地）について (要旨) 大久保市民センター建て替えやその用地について、市の考えを問う。</p> <p>(3) J T跡地公共公益施設用地について (要旨) J T跡地公共公益施設用地について、市の考えを問う。</p> <p>(4) 大久保駅南ロータリーについて (要旨) 大久保駅南ロータリーについて、市の考えを問う。</p> | | |

| 発言順位 | 11 | 議員名 | 国出拓志(公明党) |
|------|---|-----|-----------|
| 発言事項 | <p>1 明石市公式LINEについて</p> <p>(1) 公式LINEの仕組みとして、双方向の情報の共有化について</p> <p>(2) 公式LINEを活用して、広く民意を集約する方法としてアンケート等に活用していくことについて</p> <p>(3) 公式LINEで、できることの概要について</p> <p>(4) 公式LINEの使い方について、全市的な講習会や相談窓口等、相談体制の強化について</p> <p>(1)～(4)の要旨) 公式LINEの今後の利活用について問う。</p> <p>2 LINEのオープンチャットについて</p> <p>(1) 災害時におけるLINEのオープンチャットの利活用について</p> <p>(要旨) 管理者機能を使用して、特定のチームによるオープンチャットを活用した災害対策ができないか。</p> <p>(2) 有用なオープンチャットの利活用について</p> <p>(要旨) 災害対策に限らず、広くオープンチャットを利活用した市の対策・対応はできないか。</p> <p>3 市内の小中学校の体育館におけるエアコンの整備について</p> <p>(1) 中学校、明石商業高等学校の体育館の空調設備の今後の整備スケジュールや整備方針、予算の内訳等について</p> <p>(要旨) 令和7年度の夏までをめどとした、整備についての内容を問う。</p> <p>(2) 小学校の体育館の空調設置に関して</p> <p>(要旨) 今後の小学校の体育館の空調設置について、市の見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 12 | 議員名 | 黒田 智子(市民の会) |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 地域で安心して暮らすために金銭管理が必要な方への支援について</p> <p>(1) 金銭管理支援の待機者への対応について (要旨) 判断能力が十分ではないために、自分で福祉サービスの利用を決めることが不安な方や、日々の金銭管理に困っている方が、地域で自立し、安心して生活できるよう支援してもらえる日常生活自立支援事業がある。現在は、社会福祉協議会が実施し、20名ほどの待機者が発生している。解消に向けた社会福祉協議会の体制整備や人員確保は当然のことながら、喫緊の課題として、今、待機している方をどう支援するのかについて、見解を問う。</p> <p>2 地域共生社会に向けたコミュニティ・スクールのさらなる推進について</p> <p>(1) コミュニティ・スクールとコミュニティづくりについて (要旨) 学校と保護者を含む地域のあらゆる人や団体がつながり合い、みんなで子どもたちを育み、子どもたち自身が地域の中で「守られている」と感じながら成長していくことができないだろうか。コミュニティ・スクールの推進は、地域を生かした学校づくりであると同時に、そのようなコミュニティづくりに密接につながると考える。認識を問う。</p> <p>(2) 学校が抱く不安や課題への対処が必要ではないか。 (要旨) コミュニティ・スクールのさらなる推進に向けては、その意義の理解を広げることに加えて、学校が取組を前に進めるに当たり、不安に感じることや抱えている課題への対処が必要だと考える。認識を問う。</p> <p>(3) 不安や課題をヒアリングしてはどうか。 (要旨) 学校が抱える不安や課題がどこにあるのか、学校の本音をしっかりと捉えるためのヒアリングをしてはどうか。</p> <p>(4) 安心して推進できるよう、教育委員会が伴走してはどうか。 (要旨) ヒアリングで分かった不安や課題を解消し、学校が安心してコミュニティ・スクールの推進していけるよう、教育委員会が学校の相談先ではなく、伴走者となれないのか。見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 13 | 議員名 | 出雲 有希子（自由民主党明石） |
|------------------|--|-----|-----------------|
| 発 言 事 項 | <p>1 P F A Sの問題への対応について</p> <p>(1) 水質保全について (要旨) 明石川河川水のP F A S濃度は低くなってきたとはいえ、まだ他の河川水に比べると高い水準にある。明石川からの取水は、量を減らしながらも令和10年まで続けると聞かすが、浄水計画はどのようなになっているのかを問う。</p> <p>(2) 学校給食調理施設への浄水器の設置について (要旨) 明石の水道水については、国の水質基準値を満たしているものの、それは体重50キロの人が飲んだ場合の基準値である。それよりも小さな子供の口に入れるものは、国の基準値に関係なくゼロに近づけるべきではないか。そこで、小学校給食室や給食センターに浄水器を設置してはどうか。</p> <p>(3) P F A S関連情報の開示について (要旨) 本市のホームページにP F A S関連のことが載ってはいるが、市民から見ると分かりにくい。改善できないかを問う。</p> | | |

| 発言順位 | 14 | 議員名 | 尾倉 あき子 (公明党) |
|------|--|-----|--------------|
| 発言事項 | <p>1 DV被害等困難な問題を抱える女性への支援について</p> <p>(1) 困難な問題を抱える女性への支援の現状について (要旨) DV被害や性暴力、家庭関係破綻や生活困窮など複雑・多様化している困難な問題を抱える女性の本市における支援の現状について聞く。</p> <p>(2) 地域ぐるみのDV対策「あかしモデル」の構築について (要旨) 本市が取り組む地域ぐるみのDV対策「あかしモデル」の構築について聞く。</p> <p>(3) 民間団体等と連携したDV被害者支援について (要旨) 民間団体等との連携によるDV被害者への支援について聞く。</p> <p>2 特別支援教育の充実について</p> <p>(1) 支援を必要とする児童生徒の本市の現状について (要旨) 支援が必要な児童生徒の本市の現状と今後の状況について聞く。</p> <p>(2) 特別支援教育の支援体制等の充実について (要旨) 支援が必要な児童生徒が十分な教育を受けられる支援体制の整備について聞く。</p> | | |

| 発言順位 | 15 | 議員名 | 山下 祥（市民の会） |
|------|--|-----|------------|
| 発言事項 | <p>1 制度の間で取り残されている子育て世代に目を向けた施策について</p> <p>(1) 多子世帯が利用しやすい明石市ファミリーサポートセンターとなるよう工夫をしていかないか。</p> <p>（要旨）一度に預かることができる子どもの人数は、提供会員1人につき原則として1人となっている。そのことで、例えば3人の子どもがいる世帯は、3人の提供会員とのやり取りを求められ、本当にサポートが必要な人の利用控えが起きている。複数人を柔軟に受け入れられるような制度設計を検討できないか、見解を問う。</p> <p>(2) 多様な働き方に合わせた産前・子育て応援ヘルパー派遣となるよう工夫をしていかないか。</p> <p>（要旨）在宅で仕事をしていたり、1か月未満の制度利用を希望したりする場合には、本制度を利用できないという市民の声を聞く。多様な働き方がある中で、それぞれに応じた柔軟な制度となるよう検討できないか、見解を問う。</p> <p>(3) 子育て「6つ目の無料化」としての不妊治療助成について</p> <p>（要旨）現在、本市で助成している不妊治療ペア検査と兵庫県で助成している先進不妊治療医療の間で、最もニーズのある一般不妊治療が、保険適用とはいえ自己負担が多い現状がある。令和5年9月議会では、先進事例を参考に助成の範囲や回数などについて調査研究していく旨の答弁があったが、その進捗を問う。また、仮に一部助成だとしても、子を授かりたい人も誰一人取り残さないまちに向けて大きく前進できると考えるが、見解を問う。</p> <p>2 本市の関係人口を濃く広く増やしていく取組について</p> <p>(1) タウンミーティングで市民の声を聞いた後の本市における検討状況をHP上で公開しないか。</p> <p>（要旨）市民の声を聞いて、その後どうなっているか分からないという声が寄せられる。千葉県流山市がご提案への検討状況をホームページ上に掲載しているように、誰もがアクセスしやすい形で情報提供を行って、市政に継続的に関心を抱いてもらう工夫をしないか、見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 15 | 議員名 | 山下 祥（市民の会） |
|------|--|-----|------------|
| 発言事項 | <p>(2) 文化芸術活動の振興と本市のPRを目的として「アーティスト・イン・レジデンス」の社会実験をしないか。</p> <p>(要旨) 国内外からアーティストを一定期間招聘して、滞在中の活動を支援する取組がある。例えば高松市では、地域との協働やにぎわいの創出、アートの普及や若手アーティストの育成につながることを目的として施策が導入されている。本市は子育てをしやすく、海のまち・時のまちといった特徴も有する。居住を通じて感じる本市のPRもしてもらいながら、文化芸術の振興を図っていく社会実験をしないか、見解を問う。</p> <p>(3) 大蔵海岸を起点として市内全体の観光スポットのPRを加速させていけないか。</p> <p>(要旨) 令和7年度は神戸マラソンが大蔵海岸公園までコース延伸する予定で、6月議会ではモニュメントの設置を提案した。加えて当年度は大阪万博も控えるなど、市外から本市に多くの来訪を誘引できる可能性のある絶好の一年だと考えている。積極的かつ全市的な取組を強化していくべきだと考えるが、見解を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 16 | 議員名 | 井藤圭順（自由民主党明石） |
|------|---|-----|---------------|
| 発言事項 | <p>1 小学校の民間プール活用について</p> <p>(1) 民間プールを活用した水泳授業の実施について (要旨) 今年度、谷八木小学校のプールの改築が必要になったことを受けて、民間プールを活用した水泳授業が試行されたが、その効果や課題について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 民間プールを活用した水泳授業の今後について (要旨) 市内の他の小学校にも老朽化しているプールがあるが、今後の民間プール活用や水泳授業の在り方について、市の見解を聞く。</p> <p>2 中学校部活動の地域移行について</p> <p>(1) 休日部活動を試行している現状について (要旨) 令和4年6月「運動部活動の地域移行に関する検討会議」（スポーツ庁）、令和4年8月「文化部活動の地域移行に関する検討会議」（文化庁）において、令和5年度から休日の部活動について段階的に地域移行を行うことを基本として取り組むことが提言され、本市において今年度、モデル事業を実施しているが、現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 休日部活動の今後について (要旨) 令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定され、令和5年度から令和7年度までを改革推進期間として位置づけ、休日の部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すこととしているが、休日部活動の今後について、市の見解を聞く。</p> <p>3 神戸マラソンについて</p> <p>(1) 本市域（大蔵海岸）までのコース延伸予定の現状について (要旨) 神戸マラソンのコースが本市域（大蔵海岸）まで延伸予定だが、本市の現状について、市の見解を聞く。</p> <p>(2) 神戸マラソンの今後の取組について (要旨) 令和7年に第13回を迎える神戸マラソンに対する本市の今後の取組について、市の見解を聞く。</p> | | |

| 発言順位 | 17 | 議員名 | 金尾 良信(市民の会) |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 放課後等デイサービスの課題について</p> <p>(1) 放課後等デイサービスの現状と今後について (要旨) 費用負担、支援の質、利用状況等、本市の取組についての見解をお答えください。</p> <p>2 災害発生時における福祉避難所の連携体制について</p> <p>(1) 災害発生時における特別支援学校の連携体制について (要旨) 災害発生時における障害児者への対応策については、平時から事前に協議しておくことが何よりも重要であると考えます。福祉避難所である明石養護学校では、当事者及びその家族が安心して避難できるように災害対応に取り組まれているが、隣接する神戸大学附属特別支援学校との連携体制を構築することで、より迅速に災害対応に取り組むことができるのではないか。見解をお答えください。</p> <p>(2) 障害児者への対応として必要な備蓄品等の確保について (要旨) 災害の発生を想定して緊急の備蓄品等を保管しておくことは重要であり、水、発電機、充電器、トイレカーの配備、トイレの整備は特に必要と思われる。これらを周辺地域で使用する備蓄品等として保管するなど、災害時に迅速に有効活用できる体制を構築できないか。また、神戸大学附属特別支援学校の敷地内には、地下水貯蔵タンクがあると聞いているが、緊急時に使用させてもらえる方法をつくれぬか。見解をお答えください。</p> <p>3 市内の踏切内の安全対策強化について</p> <p>(1) 踏切内の安全対策について (要旨) 市内には多数の踏切があるが、通学路として使用している箇所もあり、一部は踏切内の歩道部分が狭いため、市民から危険であるとの相談がある。子どもたちや障害のある方が通行するにはかなり厳しい状況になっているが、今後の対応策について見解をお答えください。</p> | | |

| 発言順位 | 18 | 議員名 | 辻本達也(日本共産党) |
|------|--|-----|-------------|
| 発言事項 | <p>1 明石川のPFAS汚染について</p> <p>(1) 9月議会以降の対応について (要旨) 神戸市長への申入れや両市が共同で検査を行うことなど具体的に問題提起した。その後の取組がどのようになっているかを問う。</p> <p>(2) PFASに係る対応に要した経費について (要旨) 原因者に負担を求めるべきと考える。見解を問う。</p> <p>(3) 血液検査について (要旨) 改めて公費による実施を求める。見解を問う。</p> <p>2 市政の課題について</p> <p>(1) 新庁舎整備について (要旨) 不落となった際の応札業者が1者だったこと、予定価格を大幅に超過する応札となった原因、次回入札を成立させるための工夫について見解を問う。また、関連事業を含む事業費の総額について問う。</p> <p>(2) 新ごみ処理施設について (要旨) 想定される事業費総額(運営経費含む)、事業費の圧縮とごみの減量化、計画の内容と「第五次循環型社会形成推進基本計画」との整合性について認識を問う。</p> <p>(3) 今後予定される公共施設の整備・更新に係る経費について (要旨) 新庁舎、新ごみ処理施設のほかにも市民病院や卸売市場、旧市立図書館跡地の利活用など公共施設の整備・更新が予定されている。これらの整備費用について、現状認識と今後の見通しを問う。</p> <p>(4) JR西日本が計画を断念した新幹線車両基地の整備予定地の今後について (要旨) 農業用水のパイプライン整備を凍結した経緯がある。今後の対応を問う。また、同地の今後について、市の見解を問う。</p> <p>(5) 林崎掘割について (要旨) 適正な維持管理に向けた検討状況について問う。</p> | | |

| 発言順位 | 18 | 議員名 | 辻本達也(日本共産党) |
|------------------|--|-----|-------------|
| 発 言 事 項 | <p>3 外国人児童生徒の教育に係る現状認識と今後の取組について</p> <p>(1) 外国人住民の現状と今後の動向について (要旨) 全国的に増加傾向にあると言われている。本市の現状と今後について認識を問う。</p> <p>(2) 外国人児童生徒への支援について (要旨) 地元の学校に進学する場合も市外の学校に通う場合も、相当な支援が必要と考える。市の認識を問う。</p> <p>4 介護保険における住宅改修について</p> <p>(1) 理由書の作成者について (要旨) 認識を問う。</p> <p>(2) 理由書の作成者に住宅リフォームエキスパート(増改築相談員)を加えることについて (要旨) 見解を問う。</p> <p>5 放課後児童クラブについて</p> <p>(1) 育児休暇取得中の退所について (要旨) 見直すべきと考える。認識を問う。</p> | | |

| 発言順位 | 19 | 議員名 | 中西 礼 皇 (対話の会あかし) |
|------|---|-----|------------------|
| 発言事項 | <p>1 自転車に関する取組について</p> <p>(1) 観光振興における自転車活用について (要旨) 明石市自転車活用推進計画にはサイクルツーリズムの推進が盛り込まれており、海沿いの姫路明石自転車道はひょうごサイクリングモデルルートにも設定されているが、通行環境整備、宣伝、イベント開催などをどの部署でどのように行うのか。</p> <p>(2) 「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトについて (要旨) 自転車通勤を推奨する「自転車通勤推進企業」宣言プロジェクトに明石市として申請することで、民間企業の申請を促す取組が必要ではないか。</p> <p>(3) 自転車の交通安全について (要旨) 自転車事故件数と交通安全計画における目標値との差の認識について問う。 ヘルメット着用率の認識と取組について問う。 交通安全計画の目標設定の妥当性について問う。</p> <p>2 観光振興について</p> <p>(1) 観光戦略について (要旨) 市内外に何を発信しようとしているのか。 市民に発信したい内容、成果について情報が届いているのか。 発信したい内容に予算づけができていないのか。 事業の成果の検証ができていないのか。</p> <p>(2) 自転車を生かした観光について (要旨) 事業の実績や計画、また、イベントや広報、民間との連携等について問う。</p> <p>(3) 大阪・関西万博について (要旨) 本市の万博を生かした取組の戦略と、ひょうごフィールドパビリオンの取組について問う。</p> | | |

| 発言順位 | 20 | 議員名 | 家根谷 敦子 (スマイル会) |
|------|---|-----|----------------|
| 発言事項 | <p>1 障害者支援について</p> <p>(1) 日常生活用具の給付等における「暗所視支援眼鏡」の購入助成について</p> <p>(要旨) 網膜色素変性症による夜盲については、暗所視支援眼鏡で暗所歩行が可能となる。市民の日常生活の安全確保は市の重要な役割で、社会参画や夜間の災害発生時の安全な避難にもつながるため、公費助成を検討すべきである。</p> <p>令和3年12月、令和4年9月の一般質問において「他都市の動向などを調査する」との答弁を頂いたが、この間の検討状況を含めて尋ねたい。</p> <p>2 誰一人取り残さないまちづくりについて</p> <p>(1) 明石市防災訓練について</p> <p>(要旨) 令和6年11月10日、明石市防災訓練が開催され、女性更衣室が設置されている。女性更衣室は、避難所に必要な非常に重要な設備であり、スペースや機能の確保等、広く市民へ周知・啓発が必要だと考える。市の考えや今後の取組について尋ねたい。</p> <p>(2) 阪神・淡路大震災30年について</p> <p>(要旨) 令和7年1月17日で阪神・淡路大震災から30年を迎える。節目の年として、改めて市民の防災意識を高めるべく、周知・啓発する良い機会だと考える。本市の取組予定について尋ねたい。</p> | | |